

2025年度の社会貢献活動について

公益社団法人リース事業協会

はじめに

公益社団法人リース事業協会（以下、協会という。）では、リース契約が終了したリース終了物件（パソコン）を会員会社から無償で提供を受け、整備しソフトウェア（OS：Windows10・Windows11）を搭載した上で、東日本大震災および自然災害により被災した方々を支援している非営利法人・団体や社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人・団体、各地の特別支援学校へ寄贈する活動を行っています。

2025年度の活動では、自然災害の被災地支援として4法人へ9台、社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等への支援として15法人・団体へ28台、特別支援学校への支援として12校へ24台、合計61台を寄贈しました（表1）。

2011年度に本活動を始めてから2025年度までの寄贈数累計は2,233台となりました。

リース終了パソコン寄贈活動以外では、会員会社の協力により企業で使用されている封筒を特別支援学校へ寄贈しており、2025年度は約12.4万枚を寄贈し、全国の特別支援学校の作業学習で活用いただいた他、特別支援学校に会員企業からの作業依頼、作業学習用教材を提供しています。

また、自然災害の被災地支援として、リース会社の備蓄品からの支援活動等も引き続き行っています。

当協会の社会貢献活動で使用するリース終了パソコンや封筒は会員会社から提供いただいておりますが、これら物品を再利用することは、リース業界全体で積極的に取り組んでいる3R（リデュース[発生抑制]・リユース[再使用]・リサイクル[再生利用]）の推進の他、CO₂削減にも役立っています（12頁図1）。

本稿では2025年度に実施した協会の社会貢献活動についての報告と2026年度の活動計画を紹介します。

表1 2025年度リース終了パソコン寄贈実績

	寄贈先	寄贈台数
東日本大震災復興支援活動	3法人	6台
上記以外の自然災害の被災地支援活動	1法人	3台
社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等への支援活動	15法人・団体	28台
特別支援学校に対する支援活動	12校	24台
総計	31	61台

1. 東日本大震災復興支援活動

[対象:被災3県(岩手県・宮城県・福島県)]
(表2)

東日本大震災復興支援活動では、被災現地で活動を行う非営利法人・団体のニーズと、

支援を行いたい企業等をマッチングする復興庁の「被災者支援コーディネート事業」を活用しています。

2025年度は、岩手県の3つの非営利法人へ6台のリース終了パソコンを寄贈しました。

表2 寄贈先法人

	法人名	所在地	寄贈台数
1	特定非営利活動法人津波太郎	岩手県	1台
2	特定非営利活動法人なないろ	岩手県	3台
3	特定非営利活動法人NOWBELBE	岩手県	2台

〈リース終了パソコンの活用方法など(抜粋)〉

- ▶ アンケート作成、「遠地地震」津波避難についてのマニュアル作成、発信等を行い世界の津波防災・減災の活動にパソコンを活用する予定。
- ▶ 不登校の子向けのチラシ作成、若者の学習支援(定時制・通信制)の学習(オンライン)で活用、会計ソフトをインストールして活用したい。
- ▶ 障がいを抱えるお子さんたちが将来の就労にあたり選択の一つとしてパソコン業務につながる事が出来るよう、基礎的な部分を職員と一緒に学習する機会を与えていきたい。

※寄贈パソコン応募時等にいただいた情報により作成しました。

2. 自然災害の被災地支援活動

[対象:全国](表3)

自然災害の被災地支援活動では、令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨災害に関する支援において、SEMA^{*1}を通じ、被害を受けた地域の社会福祉協議会へ3台のリース終了パソコンを寄贈した他、令和7年台風第15号により発生した静岡県内竜巻災害支援として、リース会社の備蓄品から、静岡県牧之原市へ非常食3日分セット45箱を支援しました(表6)。

※1 「緊急災害対応アライアンスSEMA」は、LINEヤフー株式会社に事務局が置かれ、日本国内において大規模な自然災害の発生時に、民間企業と市民団体が連携し、現地ニーズに応じて必要な物資・サービスを迅速に提供するしくみです。

2026年4月現在、企業120社・災害時に現地でニーズを把握する活動を行う市民団体(CSO)6団体が加盟しています。

<https://sema.yahoo.co.jp/>

表3 寄贈先法人

	法人名	所在地	寄贈台数
1	社会福祉法人始良市社会福祉協議会	鹿児島県	3台



写真提供：ピースポート災害支援センター

3. 社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等に対する支援活動

[対象：全国] (表4)

2025年度の社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等に対する支援活動では、一般社団法人全国フードバンク推進協議会^{※2}を通じ、フードバンク事業を行う8法人・団体へ12台、一般社団法人全国子どもの貧困・教育支援団体協議会^{※3}を通じ、子ど

もの貧困・教育問題に取り組む活動等を行う6法人・団体へ14台、災害支援活動を行う1法人へ2台、合計28台のリース終了パソコンを寄贈しました。

フードバンク事業を行う法人・団体では、国のガイドラインに沿った食品の管理が必要であるとともに、今後も利用者・寄贈者ともに増加していくことが想定され、業務の合理化が喫緊の課題となっている一方、予算上の問題から、パソコンは十分に足りていない現状があるようです。

また、教育支援を行う法人・団体においても、ひとり親家庭等の子ども達に対し、将来の自立と就労に向けた情報リテラシー教育の充実や学習支援・デジタルスキル習得の機会提供・オンラインでの学習支援等において、パソコンの台数は足りていない現状があるようです。

※2 <https://www.fb-kyougikai.net/>

※3 <https://kyoikushien.net/>

表4 寄贈先法人等

法人・団体名		所在地	法人・団体名		所在地
1	特定非営利活動法人フードバンクTAMA	東京都	9	特定非営利活動法人アスイク	宮城県
2	認定NPO法人富士の緑とフードサポート	山梨県	10	グリーンコープ生活協同組合	長崎県
3	認定NPO法人ハーモニーネット未来	岡山県	11	NPO法人いるか（全国子どもの貧困・教育支援団体協議会枠）	福岡県
4	一般社団法人LALASOCIAL	宮崎県	12	認定特定非営利活動法人さいたまユースサポートネット	埼玉県
5	特定非営利活動法人フードバンクあしかが	栃木県	13	認定特定非営利活動法人居場所サポートクラブロベ	茨城県
6	フードバンクながおか	新潟県	14	一般社団法人全国子どもの貧困・教育支援団体協議会	東京都
7	NPO法人いるか	福岡県	15	一般社団法人フリースペース道	宮城県
8	一般社団法人全国フードバンク推進協議会	東京都			

〈リース終了パソコンの活用方法など（抜粋）〉

- ▶ 団体所有のパソコンがない。メンバーが個人所有のパソコンを使っているが、国のガイドラインに沿った食品の管理がマストとなっており、そこを担保するためにもパソコンを置くことが必要な局面になっている。
- ▶ 法人として活動している中、年々活動が広がり、現在のパソコン所有台数では正直足りていない。しかしフードバンクとして活動を明確に記録し、広く公開し、皆様からの信用を得続けていくためには、パソコンによるデータ記録・管理・集計作業・ホームページ広報活動が欠かせない。
- ▶ 以前、貴協会より寄贈頂いたリース終了パソコンは、現在、学習支援事業および関連する事務業務において有効に活用しており、事業の安定的な運営に大きく寄与している。
- ▶ 子どもの学習・生活支援事業において、開催会場まで出てくるのが出来ない子どもにオンラインで学習支援等を行っている。対象が困窮家庭で通信機器がないことも多く、リース終了パソコンを貸し出すことで、より多くの子どもを支援したいと考えている。
- ▶ ひとり親家庭等の子ども達に対し、将来の自立と就労に向けた情報リテラシー教育の充実が急務となっている。現在、当団体では学習支援事業を実施しているが、デジタルスキル習得の機会提供が不十分な状況である。
- ▶ 被災地支援は長期的な支援が必要とされる一方で、支援熱は一定期間の経過とともに低下してしまい、継続的な支援を行うことが困難になってくる。地元自治体や支援団体と連携を構築し、被災地の生徒のサポートを行っていく。また、災害が発生した場合、オンラインを活用した支援を行うためのノウハウの構築と周知を行っていく。パソコンの寄贈をいただき誠にありがとうございました。輪島市の中学生・高校生の学習支援拡充に活用し、オンラインを用いた被災地支援のモデルの1つとして事例を構築していきたい。

※寄贈パソコン応募時等にいただいた情報により作成しました。

4. 特別支援学校に対する支援活動

①特別支援学校に対するリース終了パソコンの寄贈 [対象：佐賀県・山口県・北海道・岡山県・香川県]

特別支援学校に対するリース終了パソコン寄贈活動では、全国の特別支援学校のうち、パソコン整備率（文部科学省：学校における教育の情報化の実態等に関する調査）などを勘案し、2025年度は佐賀県・山口県・北海道・岡山県・香川県へ寄贈のご案内をしました。応募のあった12校に合計24台のリース終了パソコンを寄贈しました。

GIGAスクール構想により、生徒は一人1台の端末が利用できるようになりましたが、タブレット型端末が導入されている場合には、タイピングの練習機会がなかなかとれなかったり、視線入力装置をインストールするための十分なスペックのあるパソコンが不足している状況があるようです。

また、教員が使用するパソコンは用意されていても、図書館等で利用するパソコンの更新が難しい現状があるようです。

こうした状況から、引き続き特別支援学校向けの支援活動の継続が望まれます。

〈リース終了パソコンの活用方法など（抜粋）〉

- ▶ 生徒の学習者用端末はiPadであり、Windowsマシンは教師の指導用端末の利用終了後のものを活用している状況である。機種が古く、整備状況が芳しくなく、常に欠乏状態にある。
- ▶ 教職員による業務の効率化および教育活動の充実を図るため、パソコン整備に継続的に取り組んでいるが、予算上の制約もあり、全ての端末を一度に更新することが難しい状況である。
- ▶ 視線入力の装置を動かすためのWindows11を搭載しているようなスペックのパソコンが不足しており、支援機器の活用が困難な状況にある。

- ▶ スタンドアローンの状態でタイピングの練習等をさせて、ICTの技能向上に取り組みたい。
- ▶ 就業実践科では、授業や大会へ出場するため毎週タイピング練習やWordでのビジネス文書作成を行う生徒がいる。
- ▶ キーボードを使ったタイピングやプログラミング、及び日本語ワープロ検定等の学習等での活用を考えている。
- ▶ 図書貸出用のデスクトップ型パソコンが非常に古く（2012年頃購入）、Windows11にアップグレードも不可能なため更新したいと考えているが、現在のところ予算を確保できていない。
- ▶ パソコンをご寄贈いただき誠にありがとうございます。本学教職員一同、大変感謝しております。寄贈いただきましたパソコンは、本校の教育活動を行うために、大切に使用させていただきます。

※寄贈パソコン応募時等にいただいた情報により作成しました。

②各地の特別支援学校に対する作業学習用教材の提供 [対象：全国]（表5）

当協会では、社名変更や事務所移転などにより、会員会社で使用されなくなった封筒や各種教材を特別支援学校へ寄贈し、作業学習で活用いただいている他、会員会社から依頼される作業を特別支援学校で実施しています。

2025年度は会員会社30社の協力により、約12.4万枚の封筒を寄贈した他、教材提供や作業依頼を1都11県の合計36校へ実施しました。

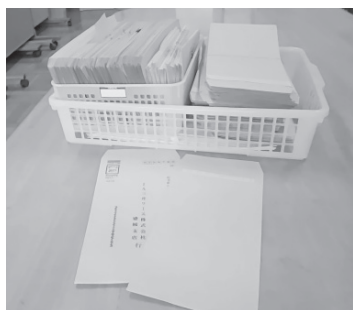
全国各地の多くの特別支援学校で行われている、アビリンピック^{※4}へ出場するための練習は、多くの封筒が必要とされます。その他、特別支援学校の作業学習において、発送作業の練習（ラベル貼付・宛名書き・封入・封緘・押印）で封筒を利用した後、最終的に

シュレッダー作業までを行っている他、会社情報部分にマスキングテープや紙などを貼付した上で、校内配布物用の封筒や、保護者とのやり取り用の封筒作成、ポチ袋や手下げバックなどを作成しています。

各リース会社で使用している色々な種類の封筒は、封筒の枚数を数えたり、仕分けをするなど様々な練習ができる他、競技大会用の練習では、一度練習に使用した封筒の再利用が難しいことから、まとまった量の封筒寄贈は大変喜ばれています。

※4 全国障害者技能競技大会。「アビリンピック」(ABILYMPICS)は、「アビリティ」(ABILITY・能力)と「オリンピック」(OLYMPICS)を合わせたもの。事務補助に関する技能については「オフィスアシスタント」という競技課題があります。

特別支援学校での作業の様子



〈作業学習用教材の活用方法など（抜粋）〉

- ▶ アピリンピックの練習や事務処理の練習等で活用させていただく。ありがとうございました。
- ▶ 学校では、紙袋を生徒から集めてリユースする取り組みをしている。広く活用させていただく。
- ▶ 再生封筒づくりの練習やラベル貼りの練習等で利用予定。
- ▶ 本校の作業学習、職業、美術などで使用させていただく。紙自体がどんどん値上がりしている中、本当にありがたい。
- ▶ 封筒を送付していただき、本当にありがとうございました。校内実習時の封入作業、職業能力検定、事務アシスタント部門の練習に使用させていただいた。おかげさまで、生徒たちも意欲的に取り組むことができた。
- ▶ 学習の様々な場面で活用できる封筒だが、なかなか数量を入手することが難しい現状にある中で、複数の型を数多く送っていただき本当にありがとうございます。生徒の成長につながるように使用させていただく。

※寄贈封筒応募時等にいただいた情報により作成しました。

③東京都立港特別支援学校の作業学習への協力 [対象：東京都] (表5)

東京都立港特別支援学校での就労移行支援活動^{※5}は、普通科（オフィスワーク）8名および職能開発科20名の生徒を対象として実施しました。

2025年度は普通科で合計5回の作業学習を行ったほか、初めて職能開発科で講義形式による作業学習を1回行いました。

協会では紙資源節約のために郵便物を減らしていますが、郵送が必要な調査関係の書類については、引き続き発送作業を依頼しています。

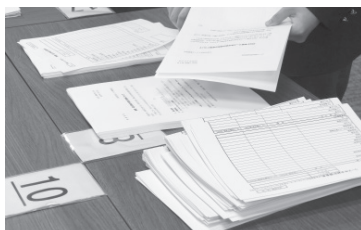
普通科では、郵便物の発送作業（押印・ラベル貼付・2つ折り・3つ折り・丁合・封入・封緘）を行っていただいた他、ビジネスマナー・事務作業に役立つミニ講座を実施した他、メモを取る練習も行いました。

年度最後の作業学習では、協会まで来訪い

ただき、協会の会議室で作業を行っていただいた他、1年間の作業のお礼に、生徒の皆様へ感謝状をお渡ししました。

一方、職能開発科では、初めて講義形式による作業学習を行い、メモを取る練習を行ったほか、協会事務局に所蔵している書籍の奥付をデータ入力する作業や経理伝票への転記作業を依頼・実施していただきました。

※5 就労移行支援活動は、企業に就職する前段階（学校）においてあらかじめ、企業で行われている郵便物の発送など、一部の業務を学校内で体験することで、就職後の業務がスムーズに行えるようになることを目的とするとともに、学校関係者以外の第三者（作業依頼者）との会話をおし、コミュニケーション能力を向上させ、自信をもって社会に出てもらうことを目標にしています。



〈作業学習に参加した生徒の感想（抜粋）〉

- ▶「伝える・面倒なことをやる」を頑張ります。
- ▶自分の仕事を好きになって4月から頑張ります。
- ▶「油断大敵」を意識する。
- ▶自分の仕事を好きになりたいです。

表5 作業学習用教材の提供活動

教材内容	提供先
封筒提供：合計123,544枚	青森県1校 茨城県3校 栃木県3校 埼玉県9校 新潟県1校 富山県4校 山梨県4校 岐阜県1校 滋賀県1校 佐賀県2校 長崎県1校
書類発送作業（押印・ラベル貼付・二つ折り・三つ折り・丁合・封入・封緘）	東京都1校
パンフレット発送作業	東京都1校
書籍奥付のデータベース作成作業	東京都2校
伝票への転記作業	東京都1校
ノベルティへのシール貼付作業	東京都3校
事務用品の提供（ファイル）	埼玉県2校 新潟県1校 山梨県2校 岐阜県1校
紙袋の提供	富山県1校 山梨県2校 滋賀県1校
封入練習教材の提供（パンフレット・冊子・チラシ等）	埼玉県1校 山梨県1校

※上記は、協会事務局からの提供を含みます。

5. その他の活動

リース終了パソコンおよび封筒寄贈活動以外では、下記の活動を行いました（表6）。

①リース会社の備蓄品からの支援活動

令和7年台風第15号により発生した静岡県内竜巻災害に関する支援として、リース会社の備蓄品から、「非常食3日分セット45箱」を静岡県牧之原市に寄贈し、避難所の方々にご利用いただきました。

②リース事業協会のノベルティを寄附

リース事業協会が開講している早稲田大学商学部寄附講座で受講生に配布したノベル

ティ^{※6}であるドリップコーヒーパック91個を「フードバンク能登」に寄附しました。

※6 早稲田大学商学部寄附講座では、成績評価のための課題レポート（いくつかの賞を設定）を提出した受講生のうち、受賞がかなわなかった学生に「参加賞」としてドリップコーヒーパックを配布しました。

非常食3日分セット



表6 その他の支援活動

	寄贈先	物品	提供会社
令和7年台風第15号により発生した静岡県内竜巻災害に関する支援	静岡県牧之原市	非常食3日分セット 45箱	(株)オリコビジネスリース
フードバンクへの寄附	フードバンク能登	ドリップコーヒーパック 91個	公益社団法人リース事業協会

6. 2026年度の活動計画

2026年度の社会貢献活動は、引き続き下記の3分野での活動を予定しています。

これらの活動を実施するために必要となるリース終了パソコンおよび作業学習用教材等については、会員会社から募集します。

①東日本大震災等の自然災害の被災地に対する支援活動

東日本大震災の被災地・被災者支援では、引き続き復興庁「被災者支援コーディネート事業」を通じたリース終了パソコンの寄贈活動を行います。[対象：岩手県・宮城県・福島県]

また、自然災害において被災地域・被災者を支える活動を行う非営利法人・団体を支援する活動を継続する他、当協会が加盟しているSEMAから支援要請があった場合、リース終了パソコン等の支援活動を行います。[対象：全国]

②社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等に対する支援活動

社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等に対する支援活動では、公共機関（児童相談所・区市町村役場・学校等）と連携し

- ①児童養護施設以降の生活等を支援
- ②社会的養護が必要な児童等への支援
- ③長期療養・病弱児の院内学習支援

上記3つの活動を行う非営利法人・団体および、子どもの貧困・教育問題に取り組む非営利法人・団体を支援する活動を継続します。[対象：全国]

③特別支援学校に対する支援活動

「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」（文部科学省）を基に、全国の特別支援学校におけるパソコン整備率などを勘案し、特別支援学校へリース終了パソコンを寄贈する活動を行う他、会員会社から提供を受けた作業学習用教材を寄贈する活動を継続します。[対象：全国]

また、東京都立港特別支援学校（普通科・職能開発科）における就労移行支援活動についても継続します。[対象：東京都]

さいごに

今年度は、パソコンをめぐる動きとして、Windows10へのサポート終了があったため、Windows11対応パソコンのニーズが増えました。

社会課題を解決するために活動を行う非営利法人・団体や、特別支援学校では、新しいパソコンを導入するための予算をつけることが難しい反面、業務面ではきめ細かな対応を求められることから、業務合理化のためのパソコンは無くてはならないものとなっています。

今年度からWindows11対応のパソコンをお届けすることができたことは大変有意義で

あったと感じておりますとともに、会員会社の方からは、パソコンや封筒の寄贈活動に関するお話の他、リース会社の備蓄品やオフィスで使用されている備品提供のお話をいただくこともあり、協会の社会貢献活動が会員会社の皆様に拡がり、共に活動ができることを大変うれしく感じております。

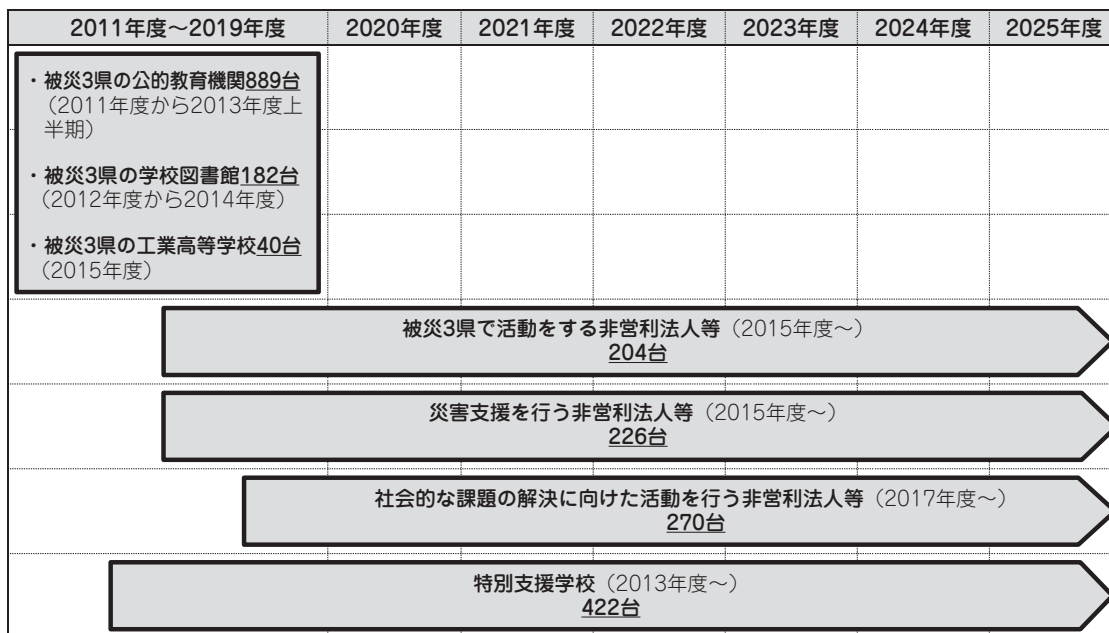
今後も、関係各所にご協力をいただき、連携をとりながら、社会課題への対応あるいは自然災害に対する支援活動が円滑に行えるよ

う、準備を整えていきたいと考えています。

最後になりましたが、リース終了パソコンおよび作業学習用教材等の寄贈活動・災害支援活動は、会員会社の協力を得て、数多くの方々に支えられて成り立っています。当協会の社会貢献活動にご協力いただいているすべての企業・団体・教育機関・関係者の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、今後とも引き続きご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

【参考資料】

〈リース終了パソコン寄贈活動の展開〉



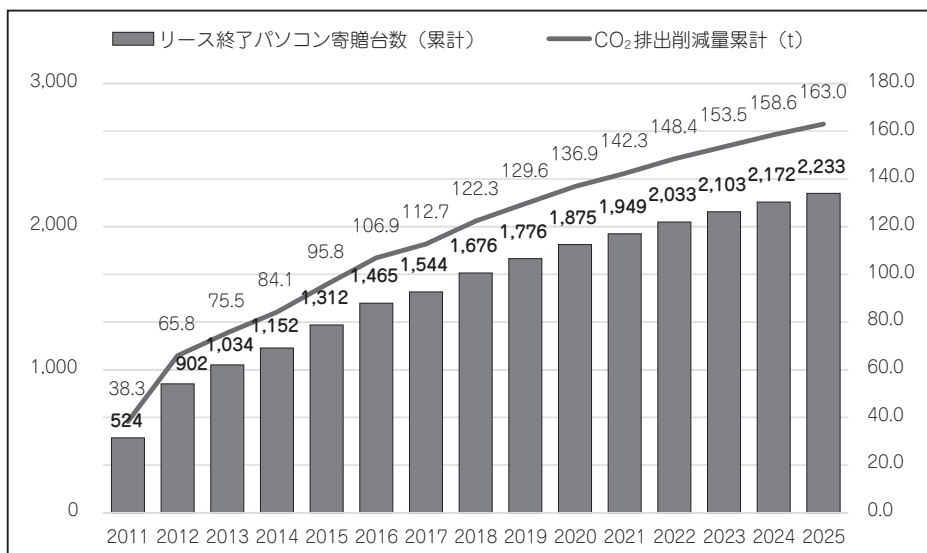
〈リース終了パソコンの寄贈・貸与*実績〉

(単位：台)

支援活動	2011年度 ～2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	累計
東日本大震災復興支援活動	1,275	11	1	9	12	—	1	6	1,315
上記以外の自然災害の被災地に対する支援活動	165	20	10	5	—	21	2	3	226
社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人への支援活動	43	13	68	28	36*	24	30	28	270
特別支援学校に対する支援活動	193	56	20	32	36	25	36	24	422
合計	1,676	100	99	74	84	70	69	61	2,233

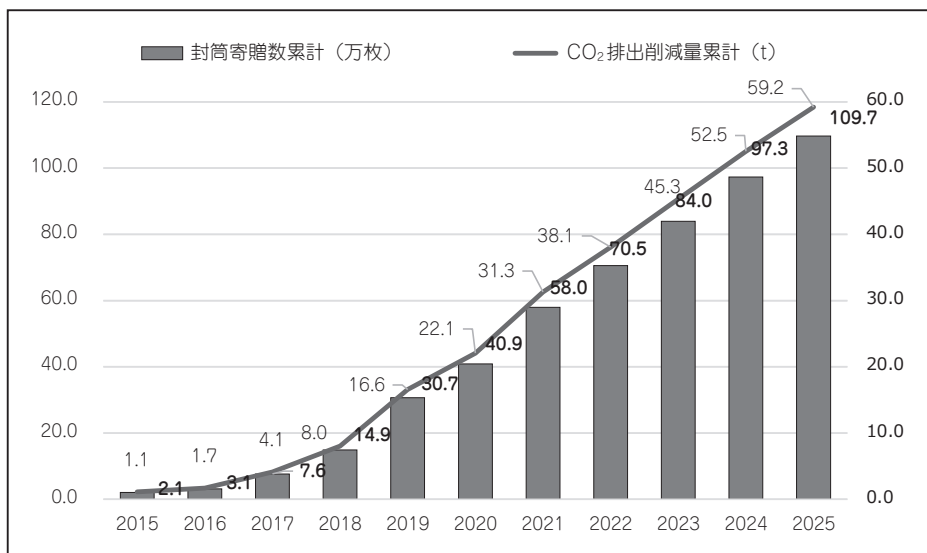
図1 当協会の社会貢献活動で削減できるCO₂の排出抑制効果

〈リース終了パソコンの寄贈台数とCO₂排出削減量（累計）〉



*CO₂排出削減量はメーカーA社の公表データに基づき試算しました。リース終了パソコンを再利用することにより、新品パソコンの製造から出荷までのCO₂の排出量が削減できます。

〈作業学習用教材の寄贈数とCO₂排出削減量（累計）〉



*CO₂排出削減量はメーカーB社の公表データに基づき試算しました。封筒を再利用することにより、新品封筒の製造から出荷までのCO₂の排出量が削減できます。

【リース終了パソコンを提供した会員会社名（2025年度）】

【正会員】

東京センチュリー(株)／ニッセイ・リース(株)／NTT・TCリース(株)／みずほリース(株)
昭和リース(株)／芙蓉総合リース(株)／鹿島リース(株)／NECキャピタルソリューション(株)

【作業学習用教材を提供した会員会社名（2025年度）】

【正会員】

オリックス(株)／三井住友ファイナンス&リース(株)
三井住友トラスト・パナソニックファイナンス(株)／MUFGファイナンス&リーシング(株)
東京センチュリー(株)／JA三井リース(株)／みずほ東芝リース(株)／昭和リース(株)
三菱HCビジネスリース(株)／阿波銀リース(株)／(株)めぶきリース／山梨中銀リース(株)
北海道リース(株)／三菱電機フィナンシャルソリューションズ(株)／FLCS(株)
ニッセイ・リース(株)／SFIリーシング(株)／十六リース(株)／第四北越リース(株)
浜銀ファイナンス(株)／芙蓉総合リース(株)／みずほ丸紅リース(株)／三菱HCキャピタル(株)
リコーリース(株)

【賛助会員】

AJCC(株)／ダスキン共益(株)／(株)ヤマハミュージックジャパン／コマツビジネスサポート(株)
紀陽リース(株)／静岡焼津リース(株)